



高山西ロータリークラブ

# 例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 田中 武
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 門前 庄次郎
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会報委員長 田中 正躬



春サーファー 蜘蛛 康介

## <会長の時間>

この 6 日 (月曜日) 午後 7:00~高山・デンバー友好協会総会に行ってきました。会場は高山市役所 3 階行政委員会室で行われ、平成 26 年度事業報告が有り、その後、平成 27 年度事業計画等 (案) が有り可決しました。我が西ロータリークラブも会員として会費を納めています。以前は出席依頼があったのですが都合いけなかったのが現状でした。私は内容の確認と友好協会とはどんな動きをしているのかそれが知りたく総会に出席して来ました。



昨年、6 月 18 日 (水) ~23 (月) デンバーユースインアクション行受け入れ (13 歳~18 歳=14 名)、7 月~1 月 コロラド大学への高山市内在勤研修医派遣事業 (高山赤十字病院: 久美愛厚生病院) 1 週間~2 週間位派遣されていました。7 月 2 日 (水) ~8 日 (火) チェリークreekアートフェスティバルへの交流団派遣 (高山市文化協会主催) 参加者は高山市文化協会訪問団 26 名 高山市海外戦略室担当部長 (田中明氏) 高山赤十字病院院長 (棚橋忍氏)、7 月 15 日 (火) デンバー高山姉妹都市委員会名誉委員長来訪歓迎会 (高山 GH1 階「城山」で約 50 名、7 月 23 日 (水) ~28 日 (月) 第 14 次デンバー高校生訪問団受け入れ、こちらは高山 RC も受入れていました。3 月 23 日 (月) 新たに着任された存デンバー日本国総領事館伊藤総領事来航歓迎会 (理事会と同時に開催) 場所は恵の久で、総領事、高山・デンバー友好協会役員 7 名・高山市副市長 西倉良介氏・高山市海外戦略室 3 名で行われていました。引き続き平成 26 年度収支決算報告書の報告と同じく平成 27 年度事業計画及び収支予算案それに、友好協会役員が発表され (会長 1 名、副会長 2 名・理事 9 名・監事 2 名) 決まりました。それに来期は、高山・デンバー姉妹都市提携 55 周年記念事業が有ります。

また昨日 9 日 (木曜日) 飛騨高山国際協会実務者連絡会議が市役所 4 階中会議室で 10:30~11:30 迄行われましたが、これにも参加して来ました。市役所の海外戦略室の、田中明氏他、今までゲストスピーチで来て頂いた皆様とも挨拶をしてきました。出席したことに大変喜んで頂き今後も宜しくと言われました。時期会長 古橋会長 エレクトさん宜しくお願ひ致します。

## <幹事報告>

◎濃飛分区次期ガサナー補佐より

- ・濃飛分区次期会長・幹事懇談会開催のご案内

日時 5 月 31 日 (日) 15:30~  
場所 洲さき



◎高山ロータリークラブより

- ・事務所移転のお知らせ

NTT西日本高山第一ビル 2 階へ 4 月 27 日 (月) より

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	30 名	17 名	47 名	47 名	100.00%
本日	33 名	—	33 名	46 名	71.74%



先週欠席の挟土さんへ改めて出席表彰記念品贈呈

挟土 貞吉 30 年

## <本日のプログラム> 雑誌・広報委員会

委員長代理 垂井 政機

本日は斐太高校の 1 代先輩、日本放送協会高山市局の中林利数様にご無理をお願いして来て頂きました。

皆様のお手元にもお配りしていますが、略歴をご紹介します。

昭和 17 年 10 月 岐阜県高山市名田町 5 丁目生まれ、36 年 3 月 岐阜県立斐太高等学校卒業、

40 年 3 月 早稲田大学卒業 NHK 報道局入局。4 月 函館放送局、放送部赴任 6 年間。46 年 6 月 東京報道局 TV ニュース部転勤 4 年間。潜水取材班、捕鯨船取材で南極海 3 ヶ月半。50 年 9 月ヨーロッパ総局パリ特派員で出る 4 年間。ヨーロッパ各地、中東、アフリカ等 50 カ国取材。ベイルート戦争、イラン革命、南アフリカ騒動 等々。54 年 9 月東京報道局 TV ニュース部に戻る 6 年間。60 年 9 月西ドイツ特派員ボン支局長 3 年間。ベルリンの壁がまだあった頃。63 年 9 月東京報道局特捜部デスクで戻る 1 年間。昭和天皇崩御、天安門事件等取材。



ロータリーに輝きを

## 例会報告

平成元年6月 札幌局放送部副部長2年間。3年6月 東京報道局 映像取材部統括で戻る5年間。雲仙普賢岳火砕流、オウム事件、阪神大震災等々の取材指揮、宮内庁嘱託拝命。ハイビジョンのニュース番組、副編集長兼務。8年6月 函館放送局長 3年間。著書4冊「蛙の子の歌」「やませの風」「精一のニワトリ」「戦傷奉公杖」—高山市民時報社刊—。11年6月 高山支局長 6年間。17年11月 支局長退任、嘱託記者として現在に至る。以上です。

本日は世界を飛び回る記者生活での様々なお話しを伺えと思っています。よろしくお願いします。



### 「瓦版屋50年」 日本放送協会 高山支局 中林 利数 様

私は今年72才で、NHKで50年間働き続けています。学校の先生になる約束でしたが、親を裏切って、マスコミの世界に入ってしまった。マスコミだメディアだと言っても元々は瓦版屋です。ヘェ〜とかホォ〜とか言ってもらえなければ、この商売は負けです。高山に帰って来て15年になりますが、狙いは、飛驒に住んで80年というようなお年寄りが「そんなことは知らなかった。初めて聞いた」と言うようなニュースを出したいということです。なかなかむづかしいが。

50年間にいろんなことがありました。TVも白黒でフィルムの時代からのスタートでした。カラーになり、ビデオになり、ハイビジョンと時代は変わってしまいました。人生は万事塞翁が馬で何が分かるか分かりません。どこでどうなるか。最初は函館から仕事を始めましたが、これだって何かの間違いで、函館以外の赴任地だったら、私の人生も又全く異なったものになっていました。山で育った男が毎で社会人になって行ったのです。

酒グセが悪くて、酔っぱらって上司にからんだことから、潜水士の免許を取るといふようなことになってしまいました。ここから南極海の鯨の取材というようにことになり、あの木村太郎キャスターとのつながりに広がって行きました。まさかが重なり、バリ特派員から西ドイツのボン支局長なんてことになってしまいました。外国語は全く苦手です。潜水と一緒で、火事場のクソ力とか若さはできないことをできることにしてくれます。

おふくろの実家が魚屋でしたから、子供の時は魚を配って集金をして走り回っていました。足の届かない自転車を三角乗りして。金亀館さんには何百回通ったか分からない。上二之町の川上魚問屋のスグ横で、小森のダンナ様が同じ町内だった。ジイちゃんは滝井孝作と隣り同士のデッチ仲間だったらしいが、

俳句なんかは見向きもしないで、ソロバンばかり弾いていた。「あんなものは肺病病みのやるもんや」と言って。

市民時報にはいろいろ書かせてもらって、本も4冊出してもらった。最初の本の題は『蛙の子の歌』で、もうこの時から私は高山に帰るといふメッセージを発していました。鮭は4年経って必ず故郷の川に戻るといふことで。まさかこんなに長く瓦版屋を続けるとは思いませんでしたが、まだ止めろといわれています。

どうかヘェ〜とかホォ〜とかいう話しがあったら教えてください。すぐ飛んで行きます。「特ダネは歩いて来ない、だから歩いて行くんだヨ。一日一本、三日で三本。三本取っても二本ボツ」と。

どうか皆様お元気で。

## <ニコニコボックス>

### ●田中 武さん、門前 庄次郎さん

本日は日本放送協会 高山支局の中林 利数 様にはお忙しい中ご来訪賜り有難うございます。後ほどの卓話、楽しみにしております。よろしくお願ひします。8日の台北訪問結団式に参加いただきました皆様には有難うございました。大いに盛り上がった中で、しっかり心一つに出来たと思います。楽しく、事故の無い様行つて来たいと思いますので、協力をお願いします。

### ●小森 丈一さん

中林利数様のご来訪を歓迎致します。話題豊富な中からどんなお話しが聞けるか楽しみにしています。

### ●垂井 政機さん、阪下 六代さん

中林 利数先輩、本日は選挙のさ中、まつり前の慌ただしい中を貴重なお時間を頂きまして大変恐縮でございます。卓話楽しみにしております。

### ●山下 明さん

NHK高山支局 中林 利数さん、ご来訪いただきありがとうございます。いつも軽妙洒落なお話し、楽しみにしています。

### ●鴻野 幸泰さん

中林利数様のご来訪を歓迎致します。いつもNHKテレビで見させて頂いております。本日のお話し楽しみにしております。先週は社会奉仕委員会担当例会でした。出席いただいた皆様方、誠にありがとうございました。

### ●鍋島 勝雄さん

1ヶ月ぶりの出席をさせていただきます。休会中、内田さんには色々とうございました。お見舞をありがとうございました。

### ●古橋 直彦さん

4月19日(日)次年度の地区協議会が鈴鹿の大学で開催されます。当日鈴鹿サーキットでもイベントがあるらしく交通渋滞が予想されますが、気長にお付き合い願ひます。

### ●塚本 直人さん

高山ではまだサクラは咲きませんが新年度に入り気持ちも新たにしています。長女が中山中に入塾しPTAの役目を引き受けました。まだまだ十分ではありませんが、今年度も損害保険代理業協会飛驒支部長を務めることになりました。それぞれ精一杯頑張ります。